



ごあいさつ

人生は夕方が楽しい、という言葉があります。人生の夕方に醸し出される、ゆったりとした穏やかであたたかい、きらめく想い。きれいごとかもしれませんが、活字の価値を最後まで信じて、人生を照らす夕日のような本をお届けしたいと考えます。

イメージとかたち

- ・これだけは伝えておきたい、書き手が後世にまで残したいと思う一冊
- ・人生哲学がしみわたった濃度の高い、でもコンパクトで読みやすい一冊
- ・図版やカラー中心でない、活字を中心にした「読む」一冊
- ・新書ワイド版（左右が7ミリ大きい）の判型

一般出版社の新書と比較すると

- ・どちらかというと年配読者向け
- ・ゆるやかに学問的
- ・定価はやや高め（平均 224 頁＝本体 1100 円）
- ・配本は控えめ（ご注文をいただけるとありがたいです）

刊行予定

2022年9月14日

中沢孝夫『働くことの意味』（192 ページ、本体 1000 円）

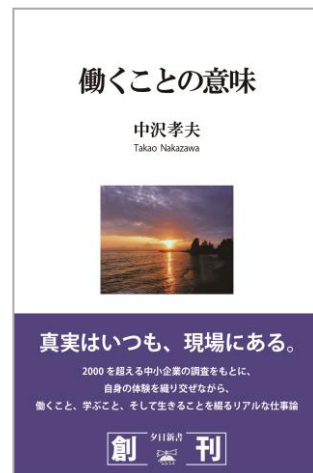
勢古浩爾『ただ生きる』（224 ページ、本体 1100 円）

2023年5月

里中哲彦『池波正太郎の残照』（208 ページ、本体 1000 円予定）

以降、毎年（毎月ではありません）4冊程度を刊行する予定です。

毎月刊行ができずに申し訳ありません。ですが、新書売り場でのお取り扱いをいただけますと、大変ありがたい次第です。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。（夕日書房社主・山野浩一）



発売は、**光文社さん**に委託しています。

ご注文は光文社さんへ 03-5395-8111(受注センター) FAX:3942-2278

